

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 5 部門第 1 区分

【発行日】平成20年5月15日(2008.5.15)

【公開番号】特開2002-54458(P2002-54458A)

【公開日】平成14年2月20日(2002.2.20)

【出願番号】特願2001-107878(P2001-107878)

【国際特許分類】

F 0 2 C 7/06 (2006.01)

F 0 1 D 25/16 (2006.01)

F 0 2 C 7/00 (2006.01)

F 0 2 C 7/18 (2006.01)

【 F I 】

F 0 2 C 7/06 F

F 0 1 D 25/16 H

F 0 2 C 7/00 A

F 0 2 C 7/18 A

【手続補正書】

【提出日】平成20年4月2日(2008.4.2)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 既存のタービン構成要素によってタービンの熱パラメータを制御することによって、空気 / オイルシール (5 0) の温度を許容しうる低さに維持しつつ、さねはぎ継手 (4 0) の荷重を維持することを含むタービンの動作方法であって、上記制御が、タービン排気フレームを横切る空気の質量流量を制御することを含み、上記既存のタービン構成要素が排気送風機 (4 8) であり、かつ空気の質量流量を制御することが上記排気送風機 (4 8) の速度を制御することを含む、方法。

【請求項 2】 前記タービンが、前記さねはぎ継手 (4 0) を間に挟んで互いに固定され且つ互いに軸方向に整列しているタービンホイール (1 8) と後部軸 (4 4) とを含んでいて、前記タービンホイールと前記後部軸が加えられる温度に対して異なる応答を示して過渡状態で熱不整合を生じるものであり、当該方法が、タービン構成要素の特性に従ってタービン構成要素の熱力学モデルを決定し、前記熱力学モデルに従ってタービン排気フレームを横切る空気の質量流量を制御することをさらに含む、請求項 1 記載の方法。

【請求項 3】 前記構成要素の特性が動作温度、質量、密度、相対位置及び速度を含む請求項 2 記載の方法。

【請求項 4】 前記タービンが、後部軸 (4 4) に隣接して配設された第 4 段ホイール (1 8) をさらに含んでおり、当該方法が、第 4 段ホイール (1 8) と後部軸 (4 4) との間のさねはぎ継手 (4 0) の近傍でタービン送風機の速度を制御することを含む、請求項 1 記載の方法。